

歴史を訪ねて

「納涼まつり」「産業まつり」「びっぷ七夕天国」。時代とともに生まれ変わりながら町民に親しまれてきたふるさとの催しは、あの頃を思い出す夏のページ。

歩行者天国の試み

比布町の夏を彩るお祭り「びっぷ七夕天国」。その起源ともいえる「歩行者天国」が町内で初めて試みられたのは、昭和49年。商店街の振興や市街地の活性化を目的に実行委員会体制で開かれた「納涼まつり」でのこと。

その日は旭川警察署の許可を得て車を通行止めとし、市街地十字街を午後5時から10時まで歩行者に開放された。多様な行事が催され、開町以来ともいわれる人手で賑わった。

以後、この歩行者天国は毎年継続されることになり、昭和55年に「産業まつり」、平成3年に「びっぷ七夕天国」と形や会場を変えながらも、短い夏の楽しいページとして町民の間に定着していった。

第1回目の七夕天国は、これまでの産業振興はもとより町民がふれあう場として、町・農協・商工会・郵便局・信用金庫などによる実行委員会が組織され、全町あげての祭りとして催された。日中には行政区対抗の縄跳び競技・玉入れ競技、夜にはカラオケ大会が繰り広げられ、このほか吹奏楽部演奏会・餅まき・焼き鳥などの屋台・子ども会七夕飾りなどが催され、多くの町民を楽しませた。

(参考・比布町史)



【昭和49年8月7日 納涼まつり】

比布町80周年記念として、初めて歩行者天国が試みられた。



【平成3年8月7日 第1回七夕天国】

第1回から続いた行政区対抗縄跳び競技は、平成19年に「農産物でGO」にリニューアルされた。



【令和4年8月7日 第30回記念七夕天国】

令和元年の第29回以降、新型コロナウイルス感染症により2年連続で中止を余儀なくされたため、3年越しの開催が喜ばれた。

発行・編集

ふるさと通信『ぴび』 令和5年3月1日発行(通巻第23号)

■発行 比布町

■編集 総務企画課まちづくり推進室広報係

〒078-0392 北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号

☎0166-85-2111(代表) 0166-85-4802(総務企画課直通)

□ホームページ <http://www.town.pippu.hokkaido.jp>

□Eメール ichigo@town.pippu.hokkaido.jp



今年もたわわ「冬イチゴ」

まちの人口

総数 3,499人

男 1,655人

女 1,844人

世帯数 1,766世帯

■令和5年1月末日現在
住民基本台帳等登録数

比布町ふるさと通信「ぴび」は、比布を離れられた人と比布を結ぶ情報紙です。

みなさまから、町外で暮らしているご家族やご友人へお届けください。